

地域とともにあるウェルビーイングな学校づくり

福田中学校 学校運営協議会 成果報告と未来へのロードマップ



磐田市立福田中学校

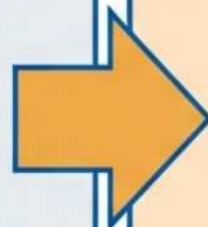
理念：学校完結型から「地域共創型」への転換

従来の学校



- 教職員のみ
- 閉鎖的
- 負担集中

教育活動を学校内だけで完結させようとする限界



FCS（ふくで・コミュニティ・スクール）



- 熟議
- 協働
- ウェルビーイング

地域人材を巻き込み、生徒が社会の担い手となるエコシステム

目標は「学校肯定感」と「地域貢献意欲」の同時向上

成果① 生徒の変容：学校肯定感が90%超へ

先生は自分のことを理解している：98%
学校（学級）が楽しい：95%
学校に相談できる人がいる：94%
福田中学校が好きだ：93%

90%超

学校肯定感

幼小中一貫教育による
「自己有用感」の定着



校則検討プロジェクト

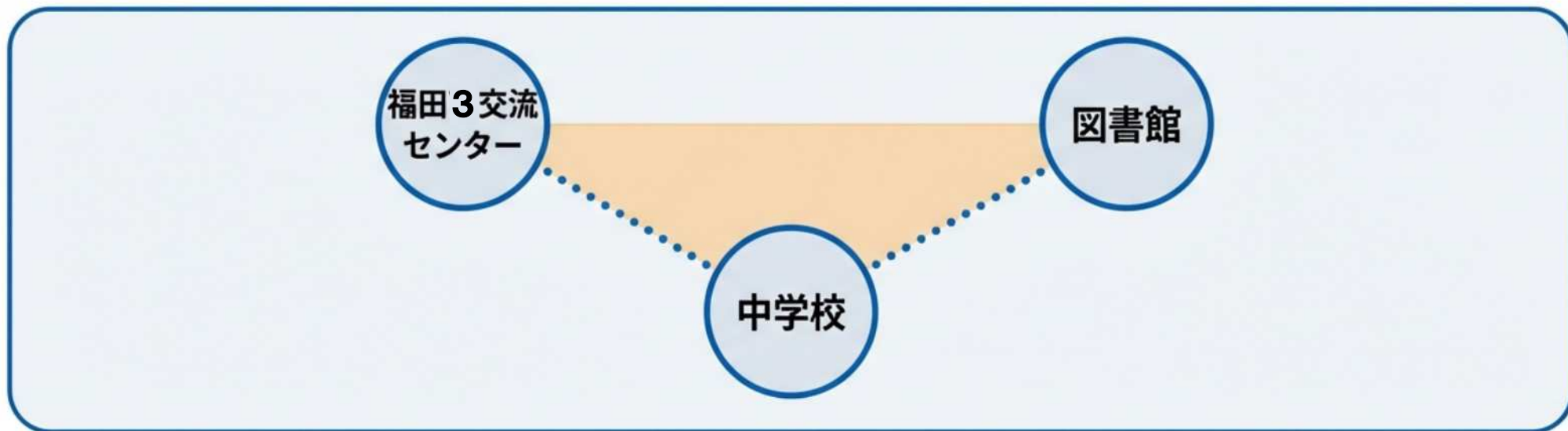
生徒会が中心となり、管理職へ提案。生徒が「学校を創る主体」へ



ユニット活動・復興支援

- ・「海辺をつなぐプロジェクト」
能登半島へ絵本300冊を寄贈
- ・「ふくで☆ふれあいスターズ」
福祉ユニットの活躍

成果② 場の拡張：地域を「サードプレイス」に



図書館と3交流センターの協力

長期休業中に学習・交流スペースとして開放。家庭・学校以外の居場所の確保。



将来の小中一体校への布石

地域と共用する校舎・施設の運用モデルを構築。不登校傾向の生徒の居場所選択肢。

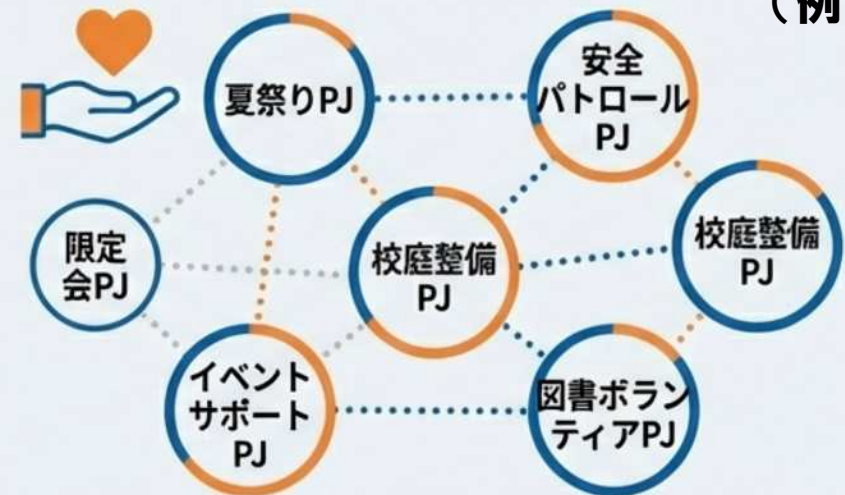
成果③ 組織改革：持続可能な保護者参加へ

Before: 旧来のPTA組織（例）



義務的、負担大、本部以外の委員会多数

After: ボランティアベースの参画（例）



主体的、委員会廃止、プロジェクト単位

共働き・現役世代が参加しやすい「主体的な参加方式」への移行により、保護者と地域住民の信頼関係深化を実現。

★新たな課題：はまぼう学府小中一体校のPTAのあり方（小P+中P、小中一体PTA、地域協働本部とPTAを統合等）

迫りくる「令和8年度」の転換点

部活動の地域展開

R8. 2学期～



SPO-CUL（スポカル）への移行に伴い、調整業務が数倍に拡大。平日の教職員指導と休日の地域指導の不整合・トラブル懸念。

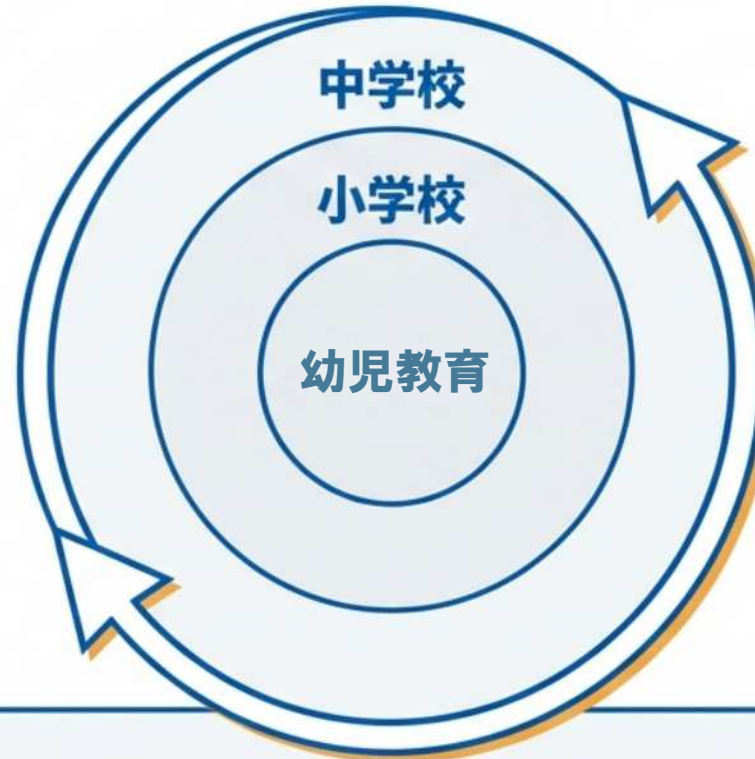
はまぼう学府 「小中一体校」化



施設一体型への移行準備。学府全体（幼・小・中）を俯瞰する調整機能が必須。

★新たな課題：教育方針・立地・施設・通学・服装・PTA等

ビジョン：幼小中一貫「チームふくで」の確立



学府コミュニティの
基盤づくり



15年間を通じた「地域貢献」と「郷土愛」の育成



学校単位から「学府全体」での熟議・調整へシフト

ロードマップ：一体校実現に向けて





令和8年度 学校経営方針

ウェルビーイングな福田中を

地域社会に誇れる、ウェルビーイングな福田中学校を創る

子どもを育てる学校から、「子どもが育つ」学校へ。
生徒、先生、保護者、地域、すべての人々のウェルビーイングのために。

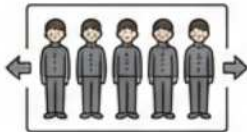


パラダイムシフト：子どもを育てる学校から、「子どもが育つ」学校へ

これまでの学校 (Old Model)



ティーチング (教える授業)



みんな一緒 (同調圧力)



教師主導の行事運営



目標：正解とコンプライアンス

これからの福田モデル (New Model)



コーチング (気づきを引き出す)



協働的な学び (多様性の尊重)



生徒主体の企画・運営



目標：納得解と合意形成



教師の役割は「教える人」から、自律を促す「伴走者」へと変わります。



幸せの4つの因子（4つの魔法の言葉）



やってみよう

夢や目標を見つけ、挑戦する自己実現。



なんとかなる

失敗しても大丈夫。前向きな楽観と回復力。



ありのまま

自分らしさを大切に。独立とマイペース。

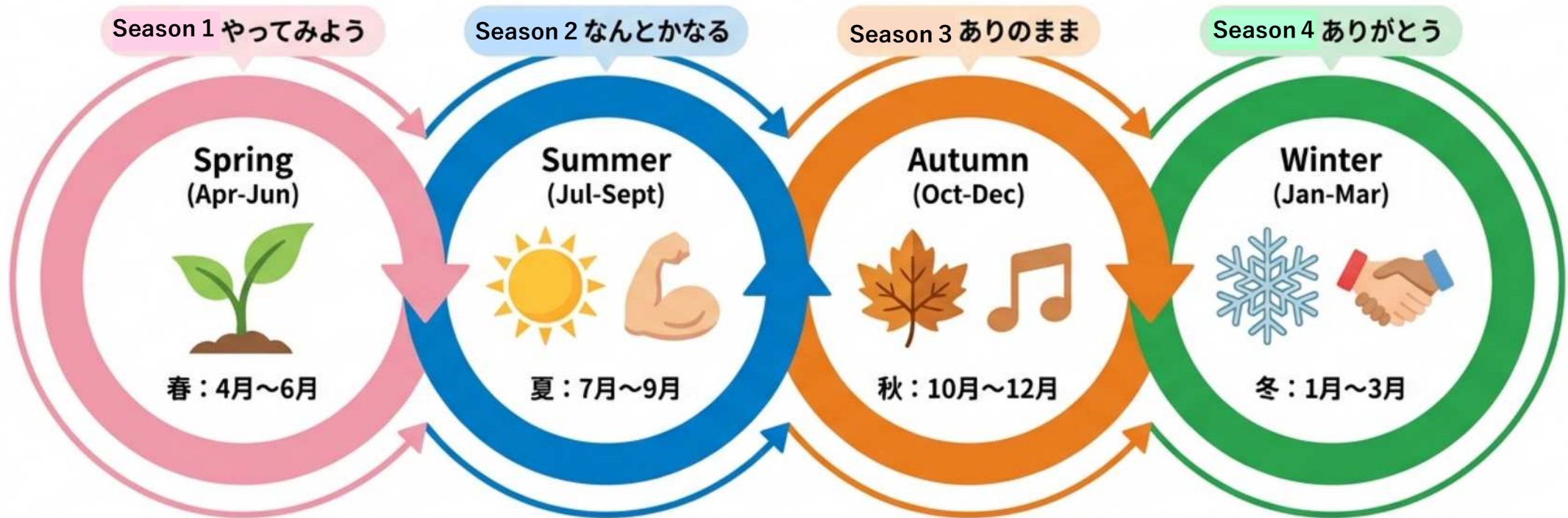


ありがとう

周りの人とのつながりと感謝。

この4つの因子を満たすことが、私たちの目指す「ウェルビーイング」です。

4シーズン制：季節と共に育つウェルビーイング



学校行事、職員会議、目標設定をすべてこの4つの季節（シーズン）に連動させます。

Season 1 (春): やってみよう (Let's Try)

新たな出会いと挑戦のスタート

- 自ら目標を設定する
- 生活の基盤「A-S-D-K」の確立
- 地域のお願い：温かいあいさつと登下校の見守り



ASDK：あいさつ・清掃・読書・交通安全

Season 2 (夏): なんとかなる (It Will Work Out)

困難を乗り越える「レジリエンス・マッスル」

● 失敗は成長のもと

暑さや大会のプレッシャー、失敗体験を乗り越え、心を強くする「レジリエンス・マッスル（回復力）」を鍛えます。

● 地域のお願い

部活動や地域のスポーツ大会での応援をお願いします。失敗しても「次があるよ」と声をかけてください。



Season 3 (秋): ありのまま (As You Are)

多様性を認め合い、個性が輝く時



個性の発揮

- **かしわ祭（合唱コンクール）**を通じ、一人ひとりが自分の役割を見つけ、表現します。

地域のお願い

- 学校や家庭以外の居場所として、**交流C**や図書館を活用します。地域の中で「自分らしく」いられる場所の提供をお願いします。
- **地域ボランティア**等、生徒の輝く場や、**機会の創出**をお願いします。



Season 4 (冬): ありがとう (Thank You)

つながりと感謝、そして次へ

1年間の振り返りと成長の確認

1年間の振り返りと成長の確認が負り、折がなた状きをします。

「福田モデル」の成果検証

「福田モデル」の成果検証にある「福田モデル」の検証「労能見力」を検証しよう。



保護者・地域・先生への感謝

保護者・地域・先生感謝や、先生さんになど、また役優の支持ちことを感謝します。

地域のお願い：

生徒の成長を共に喜び、次年度へのフィードバックをお願いします。



「福田モデル」：生徒は地域づくりのパートナー

生徒はお客様（Guest）から、
創り手（Creator）へ。

- ユニット活動：地域の祭りや清掃へのボランティア参加
- 朝・昼休み・放課後など日課のあり方検討プロジェクト
- 地域提案：中学生の視点で町の未来を企画



ASDK：あいさつ・清掃・読書・交通安全

「自分は地域の役に立っている」という実感が、
自己肯定感を高めます（学校肯定感 90%超）。




学校・家庭以外の「第3の居場所」(サードプレイス)






地域にお願い：学ぶ意欲のある生徒たちを、公共施設で温かく受け入れてください。

家庭・地域でできる「ウェルビーイング」サポート

家庭でのお願い (Parents)

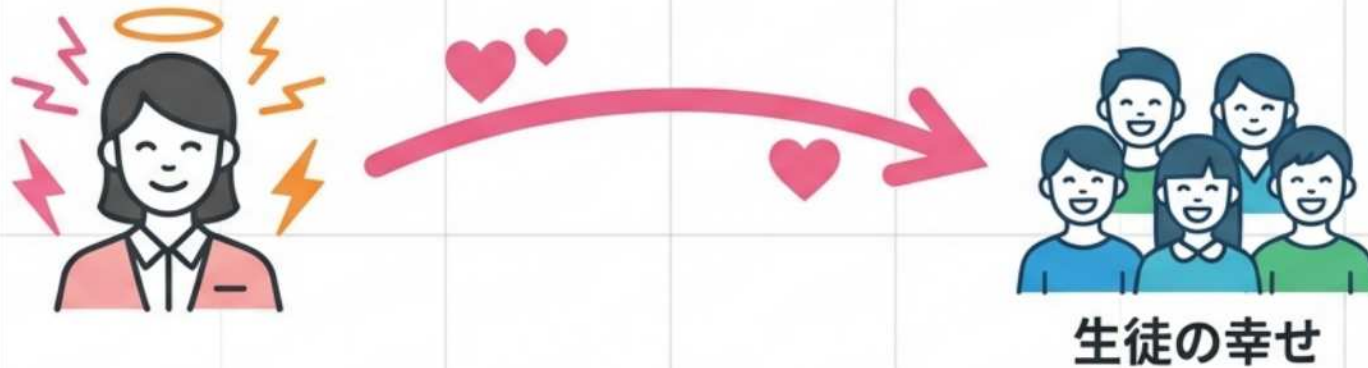
- 基本的な生活習慣
(睡眠・朝食) の確保 
- スマホ・ゲームの
ルールのお話し合い 
- 結果ではなく
「過程・努力」を褒める 

地域でのお願い (Community)

- 生徒を見かけたら
大きな声であいさつ 
- 良い行いを見かけたら
その場で褒める 
- 「未来教室」などの
講師として参加する 

先生もウェルビーイング：働き方改革

Happy Teachers = Happy Students



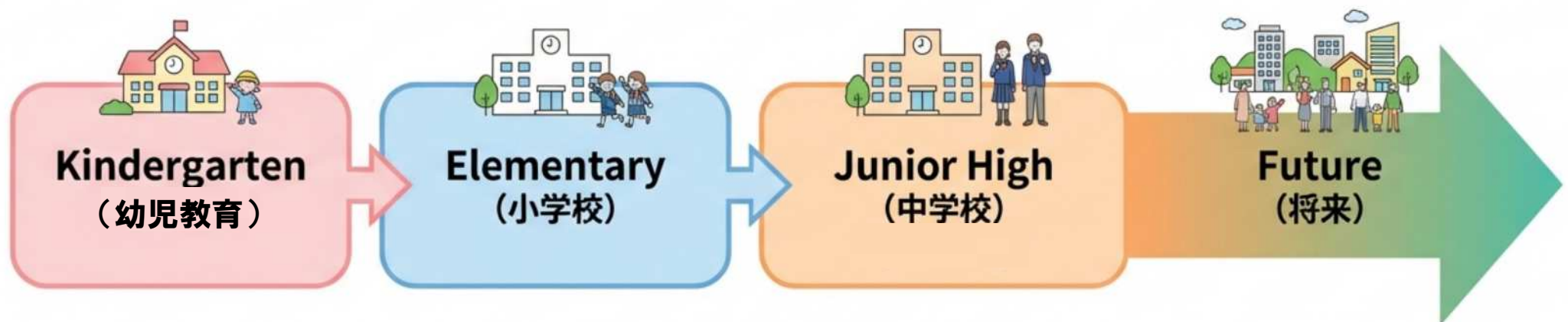
- 🕒 教材研究と生徒と向き合う時間の確保
- 🏠 定時退校による心身のリフレッシュ
- 🏀📅 部活動の地域移行（スポカル）による週末の休息

持続可能な学校教育のために、先生の働き方改革へのご理解とご協力をお願いします。

「ふるさとを愛し、互いを認め
未来をともに創る子」の育成

= 【はまぼう学府教育目標】

15年間で育てる「郷土愛」 (シビックプライド)



一度は町を出て学ぶとしても、将来「戻ってきたい」「貢献したい」と思える福田へ。 

【はまぼう学府教育目標】

目指すは「四方よし」の学校

生徒：「行きたい学校」



教師：「働きたい学校」

All for All

保護者：「行かせたい学校」



地域：「応援したい学校」

私たちが目指す「福田のウェルビーイング」



教職員・保護者・地域が「チームふくで」として、新しい一歩を。

一緒に創っていこう



福田中学校の未来は、
私たち全員で創るものです。



学校運営協議会（CS）やボランティア活動
へのご参加をお待ちしています。



学校ブログ・HPアクセス